

# 令和元年度 自己評価結果公表シート

大阪東邦幼稚園

## 1、本園の教育目標

幼児教育を人間形成・すべての教育における土台として認識し、

- ・健康で明るく、友だちと仲良く遊べる子ども
- ・色々なことに目を向け、よく考え、最後までやりぬく子ども
- ・素直で、生き生きとした心豊かな子ども
- ・ルールを守り、礼儀作法を身につけた子ども
- ・他を思いやる優しい心を持った子ども

を育成する

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育目標の内容を確認し、子どもたちの実態を踏まえた計画を立て、教育内容のさらなる充実に取り組む。

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
指導計画の作成・実施に関して、教職員の共通理解を図る。	幼稚園教育要領、自園の教育目標、子どもの実態・興味・関心にもとづいた計画を多角的に立てている。そして、必要であれば見直し、日々の保育の中で実践することが出来た。
教職員全員が互いの保育内容を確認しあい、考察する。	日々の話し合いで1日の保育を振り返るとともに、行事終了後等にも反省点などを話し合っている。
幼児教育・保育の質を高めるために園外の各研修会や研究会に積極的に参加して教職員に資料提供をする。	保育者の専門性を高め、人間性・社会性をより育むために研修会に進んで参加し、学んだ内容をレポートにして報告し、教職員全員での共有化に努めている。
保育環境の整備	子どもたちの安全確保のみならず、彼らの発達を促すような環境整備を心掛けている。また、火災・地震・津波を想定した避難訓練を定期的に行うだけでなく、火災通報装置なども最新のものに交換するなど、適宜改善することができている。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己評価の検証を通して、教職員が取り組まなければならない課題について理解することができた。また、それらの取り組み状況の話し合いを通して、全教職員が課題点や問題点を共有し、その結果、教育目標の具現化に役立てることができた。

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
感染症や防災への対策整備強化と訓練の質の向上	未知なる感染症や想定を超える巨大地震や津波への対応について、従来の保健・避難計画をさらに進めて日々研究し整備する。
情報発信の充実	園だより・クラスだよりなどを通して情報を発信しているが、さらに進んだ情報発信として既存のホームページ等のさらなる活用を検討する。

#### 6、学校関係者の評価

教職員一人ひとりが伝統ある教育目標を理解し、子どもの実態に配慮した保育の実践に努力している様子がみられた。  
今後も子どもの生活・発達に不可欠な家庭との連携を大事にし、子どもの育ちを支えて欲しい。

#### 7、財務状況

公認会計士の指導監督によって行われている会計監査において、健全経営により、財務状況は適正であると評価されている。